

令和3年度 芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道 I	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	「書 I」 （光村出版）						
副教材等	くらしのペン習字（教育図書）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・各分野において、「覚えよう」「話し合おう」「やってみよう」「参考にしよう」の囲みを設置することで、書への興味、関心を喚起したり、課題解決能力を養っていったりしよう。

2 学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、書を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、書写能力を高め、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばす。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観 点	a: 書への 関心・意欲・態度	b: 書表現の 構想と工夫	c: 創造的な書表現の技能	d: 鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	書の創造的活動の喜びを 味わい、書の伝統と文化 に関心をもって、主体的 に表現や鑑賞の創造的活 動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ 取り、感性を働かせなが ら、自らの意図に基づい て構想し、表現を工夫し ている。	創造的な書表現をするた めに、基礎的な能力を生 かし、効果的な表現の技 能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や 書の伝統と文化につい て幅広く理解し、その価 値を考え、書のよさや美 しさを創造的に味わっ ている。
評 価 方 法	観察 レポート 学習プリント	観察 レポート 学習プリント 提出作品	観察 レポート 学習プリント 提出作品	観察 レポート 学習プリント 提出作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学 期	単 元 名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一 学 期	書 写 と 書 道 と の 関 連 と 違 い に つ い て	・「書写」と「書道」との関連と違いを理解する。 ・筆の機能を理解しながら、筆の弾力・開閉等を感じる。 （筆の呼吸）	○ ○	 ○	 	○ ○	a: 書写と書道の類似点・相違点 正式書体・略式書体について 興味を持ち、今後の学習に意 欲的に取り組んでいく b: 基礎・基本を踏まえ表現を工 夫していく c: 姿勢や執筆法の基本を身につ け表現していく d: 書道の類似点・相違点・正式 書体・略式書体について理解 し様々な書のよさを味わって いく	・取組状況観察 ・学習プリント ・取組状況観察 ・提出作品

一学期	楷書の臨書学習	<ul style="list-style-type: none"> ・孔子廟堂碑・九成宮醴泉銘 ・雁塔聖教序・顔氏家廟碑 ・牛けつ造像記 ・各古典の線質がどのように違うのかを考えながら書く。 ・字形と線質が文字の持つ雰囲気とどのように関係するかを理解する。 ・半切3分の1の大きさと楷書の短文作品を制作する。優秀作品は芸文祭に出展 	○	○	○		a:楷書の美とその表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組んでいく b:書体の基本的な用筆方法を理解し、表現を工夫していく c:筆の弾力を利用する用筆方法を身につけさせる d:文字の成り立ちに興味を持ち、楷書の古典を知り、そのよさや美しさを味わっていく	<ul style="list-style-type: none"> ・取組状況観察 ・学習プリント ・取組状況観察 ・学習プリント ・提出作品
	硬筆の宿題 展覧会鑑賞レポート	<ul style="list-style-type: none"> ・整齊の文字構成を覚える。 ・色々な書の表現方法や形式、表現効果を探り、書の鑑賞能力を高めながら、書を愛好する心情を育てる。 	○			○	a:基礎的な能力を身につけ、その向上に努め、主体的に表現や鑑賞の活動に取り組んでいく b:書写で身につけた基礎的な能力を生かして表現を工夫していく c:書写で身につけた基礎的な技能を生かして表現していく d:日常生活の硬筆の書の効用について理解し、そのよさを味わっていく	<ul style="list-style-type: none"> ・提出作品 ・鑑賞レポート
二学期	行書の臨書学習基本点画の学習	<ul style="list-style-type: none"> ・行書の基本点画、筆脈を理解する。 ・筆の機能を理解しながら、行書の筆の呼吸を理解する。 	○				a:行書の美とその表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組んでいく b:基本的な用筆方法を理解し、表現を工夫していく c:筆の弾力を利用する用筆方法を身につけていく d:文字の成り立ちに興味を持ち、行書の古典を知り、そのよさや美しさを味わっていく	<ul style="list-style-type: none"> ・取組状況観察 ・提出作品
	・蘭亭序・風信帖の臨書	<ul style="list-style-type: none"> ・基本点画が古典の中でどのように生かされるかを観察し、意識しながら臨書する。 ・和様漢字の用筆法を習得する。 ・蘭亭序・風信帖から集字した2字句を半切3分の1の大きさと制作する 	○	○	○	○	a:行書の美とその表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組んでいく b:書体の基本的な用筆法を理解し表現を工夫していく c:筆の弾力を利用する用筆法を身につけさせる d:文字の成り立ちに興味を持ち、行書の古典を知り、そのよさや美しさを味わっていく	<ul style="list-style-type: none"> ・取組状況観察 ・学習プリント ・提出作品 ・取組状況観察 ・学習プリント ・提出作品
	篆刻（1字朱印）	<ul style="list-style-type: none"> ・楷書、行書を素材に、印面にうまく収め、刀が筆のようにさまざまな線質を生み出すことを知る。 	○	○	○		a:名前の行書体を調べ、書体の変遷について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組んでいく b:篆刻における分間布白を理解し、表現を工夫していく c:印稿づくりにおいて小筆の弾力を活かし硬筆筆にも応用できる技法を身につけていく d:様々な石の印影を鑑賞し、そのよさや美しさを味わっていく	<ul style="list-style-type: none"> ・学習プリント ・提出作品

三学期	かなの臨書学習・平仮名・蓬莱切	<ul style="list-style-type: none"> ・かなの基礎的な技法を身に付ける。 ・漢字の伝来から万葉仮名・草仮名・女手（仮名）の完成に至るまでの変遷の経緯を理解する。 ・蓬莱切の特徴をとらえながら、意連・連綿の技法を習得する。 ・短冊の様式・散らし書きの様式を学ぶ。 ・短冊・色紙に「おほそらに～」を臨書する。 	○			○	<ul style="list-style-type: none"> a: 墨色について関心を持ち、積極的に表現技法を高めていく b: 平仮名・変体仮名の筆使いについて理解し、表現を工夫していく c: 単純化された筆使いを身につけ表現していく d: 墨色は黒一色ではないことを理解し、そのよさを味わっていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・取組状況観察 ・学習プリント ・提出作品
-----	-----------------	---	---	--	--	---	---	---

- ※ 表中の観点について a: 書への関心・意欲・態度 b: 書表現の構想と工夫
c: 創造的な書表現の技能 d: 鑑賞の能力
- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。